

## 簡易郵便局 受託者募集のご案内



この場所が、新しいふるさと。



# 簡易郵便局とは？

現在、郵便局は全国に約24,000局あります。そのうち約4,000局が、地域の方々に業務を行っていただいている簡易郵便局です。日本郵便株式会社と契約を交わしていただき、地域のお客さまが、手紙を送る、お金を引き出す、保険に加入する※1、といったサービスを全国あまねく受けられるように運営していただいています。

※1 保険の募集および紹介は、株式会社かんぽ生命保険の委託により行う業務です。



簡易郵便局は、委託手数料を収益としながら受託者が事業主として郵便局の運営を行っていただくものです。

## 取扱業務の主な内容

郵便局の窓口業務のうち基本的な業務を行っていただきます。



- 切手、印紙、はがき等の販売
- 郵便物の引受け  
(配達はしません)
- ゆうパックの引受け  
(配達はしません)



- 通常貯金や定額貯金のお預かりまたは払戻し
- 口座振替の対応
- 普通為替や定額小為替の発行(販売)



- 保険料の受入れ
- 保険金の請求に関する手続
- かんぽ生命保険の商品の募集、取扱局の紹介※2



- お中元やお歳暮等のカタログ販売の申込受付
- 封筒、筆記具等の販売

※2 保険の募集および紹介は、株式会社かんぽ生命保険から受託して行う業務です。

## 営業日・営業時間

営業日:月曜日から金曜日  
(年末年始(12/31~1/3)を除く)

休業日:土曜日・日曜日・祝日

営業時間:(郵便)9時から17時まで  
(貯金・保険等)9時から16時まで

## 簡易郵便局の特徴

- 兼業が認められています。  
農業や小売業など、多くの方が他の仕事と両立しています。
- 9割が個人受託者です。  
個人事業主として受託している方がほとんどです。
- 幅広い年齢層の方が活躍しています。  
20歳以上65歳以下の方であれば、お申し込みいただけます。
- 事前研修や開局後のサポートもあり安心です。  
事前研修があり、開局後も社員が業務のサポートを行います。

# 募集要件等

## 基本的な 資格条件

受託いただける方の主な条件は、

- 年齢が契約締結時点で20歳以上、申込時点で65歳<sup>※3</sup>以下
- 簡易郵便局の業務を行う施設・設備を自ら用意できる方
- 3名以上業務に従事できる方を確保できること  
(個人の場合は受託者を含めて3名)
- 十分な社会的信用を有し、簡易郵便局委託業務を適正に行うために必要な能力を有する方
- 純資産が個人の場合<sup>※4</sup>は300万円以上、法人の場合は500万円以上
- 破産者でない

などです。

<sup>※3</sup> 65歳を超えても、郵便局又は金融機関で金融窓口業務に従事された経験のある方は、申し込みできる場合がありますので、事前にご相談ください。

<sup>※4</sup> 個人の場合、連帯保証人1者(法人に限る)が必要です。

## 収入について

日本郵便株式会社から受託者の方に、「固定額」および「業務の取扱量に応じた額」の合計額で構成される委託手数料を毎月お支払いします。

### 【固定額】

毎月約30万円を「基本額」としてお支払いします。

ただし、郵便・貯金・保険の三事業を受託し、定められた営業日数全てを行った場合の金額です。

また、基本額に加え、各局所の取扱規模に応じて「基本額調整手数料」をお支払いします。金額は14段階に区分されており、約1万円/月から最大で約20万円/月です。

### 【業務の取扱量に応じた額】

取扱件数や取扱金額に応じてお支払いします。

例えば、ゆうパックの引受け、定額貯金の預入などの取扱件数に応じてお支払いします。

## 募集地域

募集地域は、以下のURLからご確認いただけます。

<https://www.post.japanpost.jp/owner/area/>



## 黒之浜簡易郵便局

(鹿児島県阿久根市)

### 50代から始める第二の人生 地域唯一の金融機関としての貢献

黒之浜簡易郵便局は、鹿児島県阿久根市の漁村にある。50歳を目前にして、約30年の東京での会社員生活を辞めて故郷に戻る選択をした局長の小野泰之さんに、その理由、新たな暮らしについて話を聞いた。



小野 泰之  
鹿児島県出身。  
東京都での  
会社員生活を経て、  
故郷の阿久根市にUターン。  
妻と小学生の息子との三人暮らし。  
2019年から局長を務める。

黒之浜は私の生まれ故郷です。大学入学を機に故郷を離れ、以来東京で生活してきました。戻ることを考えたことは一度もありませんでした。

考えが変わったのは、50歳を目前にした頃です。当時は朝早く家を出て、夜遅く帰るという毎日で、平日に子どもと一緒に食事をしたことはありませんでした。父親としてこのままでいいのだろうかという思いと、定年退職後の人生や母の健康状態などを考えると、故郷で簡易郵便局の受託者になるという選択肢もありなのではないか、と思えるようになったのです。収入は会社員時代よりも減りますが、安定していますし、定年退

職がないため、長く続けられます。妻と子どもに相談したところ、ふたりとも賛成してくれました。

ただし受託者になる際には、ひとつだけ解決すべき問題がありました。かつての局舎が老朽化していたことです。継続使用はできないと判断して、近くにあった空き物件を土地ごと購入し、移転することにしました。資金は退職金から捻出しました。

約30年ぶりに戻ってきた私を、地域の方は「よう戻ってきたね」「よく決意してくれた」と、あたたかく迎え入れてくださいました。この簡易郵便局が地域に残された唯一の金融機関という、この

地域ならではの事情もあったかと思います。以前は農協と漁協が店舗を構えていたのですが、農協は撤退し、漁協は業務を大幅縮小しています。銀行は市の中心部まで行かないとありません。皆さん簡易郵便局の継続に不安を持たれていたのではないのでしょうか。

受託者になって以来、生活スタイルは会社員時代から一変しました。残業や早朝出勤、仕事の持帰りは基本的にありません。時間や仕事に追われることもなく、精神的なストレスはなくなりました。直近で受けた健康診断の結果は、会社員時代よりも良い数値になっていました(笑)。

お客さまはさほど多くありませんが、暇を持て余しているのかといえばそうではありません。定期的に各業務の制度改正などがありますし、ふだん取り扱いが少ない業務の手順を、お客さま対応に困らないように、事前確認しておく必要があるからです。

受託を考えられている方にお伝えしたいことは、異業種であってもそれまでの社会経験が必ず役に立つということと、簡易郵便局の業務を通じて地域の皆さんが歓迎してくださるということです。施設を購入して準備しようとする多少の資金は必要ですが、賃貸でも始められるので、ぜひ飛び込んできてほしいと思います。



黒之浜簡易郵便局(〒899-1131鹿児島県阿久根市脇本9639)。黒之浜漁港(写真右上)からほど近い場所に移転し、現在に至る。

## 馬山簡易郵便局

(群馬県甘楽郡下仁田町)

### 人生の岐路でUターンを決意 イラストレーターとしても活躍

馬山簡易郵便局は、特産「下仁田ねぎ」で知られる群馬県西部の下仁田町の農村に立地する。龍英子さんはUターン後、局長のかたわら、イラストレーターとしても活躍。その経緯を聞いた。



龍 英子  
アメリカ生まれ、  
下仁田育ち。都内の  
芸術系大学を卒業後、  
イラストレーターとして活動。  
2016年頃、結婚を機に下仁田にUターン。  
2020年から局長を務める。

学生時代に東京に出て以来、下仁田に戻ることは考えていませんでした。イラストレーターなど絵にかかわる仕事を東京でしたいと考えていたからです。しかし、なかなか思うようにはいかず、事務職、テーマパークの美術スタッフなどの仕事に就くことで生計を立てていました。そうこうしているうちに転機が訪れました。結婚です。家庭を持つことを考えると……。それまで聞き流していた母からの「戻っておいで」コールを、まだ結婚前だった夫に相談したうえで受け入れることにしました。

局長になったのは2020年です。はじめのうちは慣れない仕事にてんやわん

やでした。お金を取り扱う仕事ですから、ミスをしてはいけないというプレッシャーもありました。でも慣れるに従って、気を付けるべきポイントが明確になって、気持ちに余裕が生まれ、時間もコントロールできるようになっていきました。いまは公金の支払いなどが集中する繁忙期を除けば、仕事に追われることはありません。

来局されるのは、ほとんどがこの地域にお住まいの方です。農家が多いので、12月にもなると特産の下仁田ねぎが大量に持ち込まれます。ときにはねぎの匂いが局舎に充満することも……。寒くても温まる気がします(笑)。

田舎暮らしを始めて5年。生活環境は変わりました。いまは隣町に居を構えて、夫と子どもの3人で暮らしています。夫は地方都市出身で田舎暮らしは初めてですが、局の補助業務のほか、畑仕事をするなど、彼なりに生活の中に楽しみを見出しているようです。

絵はいまでも描き続けています。友人のお店のロゴを作ったり、お子さんの似顔絵を描いてあげたり。ちなみにお客さま待合室に飾ってあるイラストは、帰郷前に開いた個展の“残骸”(笑)です。東京では反響に乏しかったのですが、こちらでは高齢の方や子育て世代のお母さんからの反応がすこぶる良くて、同じタッチで描き下ろしたイラストのオリジナルカレンダーを毎年制作するまでになりました。地元の文具店などを通じて販売しています。ペンを握るのは子どもが寝静まった時間から。時間を捻出するのは大変ですが、絵を描くことが好きなので、今後もずっと続けていきたいと考えています。

受託を考えられている方は不安もあるかと思いますが、まずは地域に馴染むことがポイントだと思います。それさえできれば、支社などからのサポート体制も整っていますし、安心して業務にあたれます。簡易郵便局の仕事に慣れば、他の仕事を兼ねることも十分可能です。



馬山簡易郵便局(〒370-2603群馬県甘楽郡下仁田町馬山甲3317)。自宅の前面部分を改築し、局舎として使用している。イラスト(写真右下)は龍さんによるもの。

## 田辺稲成簡易郵便局

(和歌山県田辺市)

### FMパーソナリティも兼務 根底にあるのは地域への愛

田辺稲成簡易郵便局は和歌山県南部の田辺市にある。切り盛りするのは局長の垣本直美さん。バイタリティあふれる垣本さんに、簡易郵便局に応募した経緯、仕事のやりがいについて語ってもらった。



垣本 直美  
独身時代、約10年間  
地元の信用組合に勤務。  
子育ての期間を経て、  
コミュニティFM田辺のパーソナリティに。  
2013年から局長を務める。

例えば私の人生の岐路には常に家族からの「できるんちゃうか？」の後押しがありました。一度目は地元コミュニティFMのパーソナリティ募集で、二度目は田辺稲成地区の簡易郵便局の募集で、そう声をかけられたのです。どちらも経験がありませんでしたが、よくしゃべるからなんとかなるのではと思われていたようです(笑)。

簡易郵便局の受託前は、FMのパーソナリティとして週に2本番組を持っていました。リスナーの方からのメールを読んでおしゃべりをして。スマホアプリを使えば全国で聴くことができるので、市外のリスナーもいました。田辺の方

だけでなく、全国の方と触れ合うことで、田辺の良さ、魅力を再確認することができました。

簡易郵便局の募集について声をかけられたのは、ラジオの仕事が軌道に乗ってきた頃でした。応募するかどうか迷いましたが、私から子どもたちに引き継いでいく将来も見据えて、手を挙げました。

施設を準備する際は、指定された範囲内でなるべく利便性の高いところという条件で探しました。農村も近く商業施設に囲まれたこの場所は、うってつけでした。建物の外観はちょっと変わっていますが、実は梅干し加工場です。その

一角を改装して使わせていただいています。

開局後は、それなりに苦労はありました。失敗談もひとつやふたつでは済みません(苦笑)。それでもこの仕事が好きだと思えるのは、地域の皆さんと直接触れ合えるから。ちょっとした会話を交わして、お互い笑顔になる。そんな日常が、この仕事へのご褒美だと思っています。

仕事をするうえでいつも心に留めているのは、お客さまとしっかり向き合うこと。たとえば、ご高齢の方が書類を持ってこられて「よくわからないのだけど」ということもあります。そういうときは書類を確認したうえで、振込にすべきか、あるいは現金書留にすべきかなど、対応できる範囲で解決策をアドバイスするようにしています。すべてを事務的に処理するわけにはいきません。

現在は局長を務める傍ら、コミュニティFMで週に1本、番組を持たせてもらっています。簡易郵便局長もFMパーソナリティも、どちらも地域密着型の職種です。この土地を愛する私にとって、地域から必要とされることは、何よりも喜びです。困難なこと、苦労があったとしても、それさえあればやっていけるとおもいます。



田辺稲成簡易郵便局(〒646-0051和歌山県田辺市稲成町2844)。簡易郵便局の閉鎖に伴い、当社が新たな受託者を募集していたところ、垣本局長によって営業再開した。

## 手稲星置簡易郵便局

(北海道札幌市)



成田 貴宏  
青森県生まれ、北海道育ち。  
会社員、鍼灸師などを  
経て、2018年から現職。  
局舎併設の住居で、妻とふたりで  
暮らしている。

### 簡易郵便局の存在意義を再認識 古武術との両立で日々充実

手稲星置簡易郵便局は、札幌市北西部の住宅地にある。2017年に一度閉鎖し、翌年に成田貴宏さんによって営業再開した。現局長の成田さんに、再開に至った経緯、ライフスタイルについて聞いた。

大学卒業後は数年間関東でサラリーマンとして営業の仕事をしていました。その後、紆余曲折を経て鍼灸師として独立。それが今では簡易郵便局長ですから、人生いろいろです(笑)。

私が受託を開始したのは2018年ですが、局自体にはおよそ40年の歴史があります。一度簡易郵便局が閉局したのは当時局長だった母が急逝したためです。

閉鎖中は、簡易郵便局が地域の方から必要とされているということを再認識しました。隣の郵便局までは2~3キロ。年配の方にとって歩くには遠い距離です。「いつ再開するの?」と聞かれることもたびたびありました。

その後、私が再開しようと動き出しました。支社からのサポートも受けながら準備を進め、閉鎖から約1年後、窓口を再開することができました。地域のお客さまからは「よかったね」「お母さんも喜んでいるよ」と声をかけていただきました。ありがたいことです。

簡易郵便局の業務については、母の時代の経験や閉局前の研修で基本的な流れはわかっていたのですが、端末操作など覚えなくてはならないことも多く、当初は戸惑いや苦労もありました。問い合わせ先の「ヘルプデスク」にはずいぶんお世話になりましたが、母の時代よりもシステム化されているので業務は

ずいぶん楽になっていると思います。当時は現金の取扱いも手作業でこなしていましたから。現在は機械化されているので入出金に関するトラブルはありません。精神的にも負担は少ないです。

仕事は繁忙期など特定の時期を除けばいつも同じ時間に終わります。自宅に戻った後は、郵便局の制服から道着に着替えて、自宅前の駐車場で、柔術、剣術など古流武術の稽古をします。防犯にも役立つと思っていますが、幸いにもまだそうした事態には遭遇していません(笑)。鍼灸は、いまは仕事としてはやっていませんが、妻や局スタッフらの求めに応じて、ときおり鍼を打ったり灸をすえたりしています。

受託を考えられている方は、何かスキルがないと、思うかもしれませんが、簡易郵便局の仕事に特別なスキルは必要ありません。常識的で、まじめであれば勤まると思います。接客のことを考えれば、にこやかに笑える方がより望ましいですね。

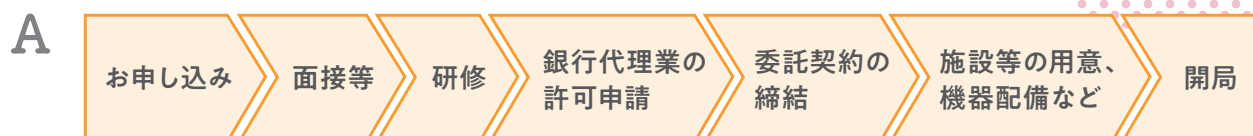
報酬に関しては、夫婦二人で生活するには十分な額です。会社員時代の拘束時間やストレス、鍼灸師時代の不安定な経済事情(笑)などを考えれば、私はいまの生活に満足しています。生涯続けていきたいと思っています。



手稲星置簡易郵便局(〒006-0852北海道札幌市手稲区星置2条7-4-5)。自宅の前面部分を局舎として使用。札幌市郊外の住宅街にあるため、お客さまは多い。

## よくあるご質問

### Q 開局までの流れを教えてください



万全の体制でオープンできるようサポートいたします。なお、必要な書類を作成する際には、当社の担当者がサポートいたします。

### Q 一日のしごとの流れを教えてください

A 朝、定められた時間に窓口の営業を開始し、お越しになるお客さまにゆうパックの引受けや貯金の受入れ・払戻しなどの各種サービスを提供いたします。貯金業務は、主に専用の端末機で処理します。営業時間が終了したら、その日の実績を取りまとめ、端末機・書類などにより報告します。

### Q 受託者が用意するものは、どんなものですか？

A 業務を行う施設(局舎)<sup>※1</sup>、現金を保管する金庫、カウンター、電話機、ファックス機、コピー機などは、開局の際に受託者の方にご準備いただきます。開局にあたっては担当者がサポートいたします。貯金窓口端末機、ノート型パソコン、プリンタ、防犯機器、電子式はかり、ユニフォームなどは当社で準備いたします。

※1 施設の準備が困難な場合、当社が店舗を賃貸(有償)できる場合もありますので、担当支社にご相談ください。

### Q 現在、募集している地域に住んでいません。UターンやIターンでも受託者になれますか？

A 現在お住まいではない地域での受託も可能です。ご希望の地域などございましたら、まずは、ご関心のある地域の担当支社までお気軽にお問い合わせください。

### Q 現在、地元でお店を営んでいます。兼業でも受託できますか？

A 簡易郵便局を営業しながら兼業として他の事業を行なうこともできます。実際に、商店を営んでいる受託者の方もいらっしゃいます。ただし、簡易郵便局専用のカウンターや作業スペースを設けていただく必要があります。

## お問い合わせ先

支社名	受持地域	電話番号
北海道	北海道	(011)214-4048
東北	青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県	(022)267-7186
関東	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県	(048)600-2203
東京	東京都	(03)-6659-8730
南関東	神奈川県・山梨県	(044)280-9107
信越	新潟県・長野県	(026)231-2479
北陸	富山県・石川県・福井県	(076)220-3265
東海	岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	(052)446-8233
近畿	滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	(06)6944-6954
中国	鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県	(082)224-5180
四国	徳島県・香川県・愛媛県・高知県	(089)936-5180
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県	(096)328-5221
沖縄	沖縄県	(098)865-3346